

第4学年3組 国語科学習指導案

1. 日時・場所 令和5年7月13日(木) 5校時 4年3組教室
2. 単元名 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう
教材名「一つの花」(光村図書)
3. 単元構想

〈テーマに迫るための手立てや工夫・日常的な取り組み〉

中学年の目指す子ども像・・・

「自分の考えをもち、意見を交流したり表現したりすることを楽しめる子」

「友達の話を自分の考えと比べながら聞くことができる子」

- ・自分の思いをもてない、もっているが自らの言葉での表現が難しい児童には、ヒントカードを渡す。
- ・小グループでの交流を入れることで、自分の思いや考えを伝えやすくする。
- ・伝え合いの場では、相手に伝わる話し方(話型)・もっと話がしたくなる聞き方(反応)を意識したり、自分の考えや相手の考えの類似した部分、比較した部分に関連付けて話したりできるようにする。
- ・朝の会では、1分間スピーチを設け、思いや考えを楽しみながら伝える活動を取り入れている。
- ・読み聞かせや読書活動を行い、様々なジャンルに触れることで語彙力をつけている。
- ・田島タイムを利用し、言葉ゲームや全体でのお話リレーなど楽しみながら言葉に親しむ活動を取り入れている。
- ・話し方、聞き方の定着を図るため、学習時見える位置に話型や聞き方(反応の仕方)を掲示している。

〈主たる言語活動〉

- ・登場人物の心情を、叙述をもとに読み取り、考えたことを伝え合う。

4. 単元目標

- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思考 C1 エ)
- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。(知識 1 オ)
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思考 C1 イ)
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思考 C1 オ)

5. 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1) オ)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1) エ)	・進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。

6. 学習指導計画 (8時間)

次	時	【 】評価基準 ☆評価方法	○主な学習活動	・指導上の留意点
	0		○戦争にまつわる絵本を読み聞かせし、戦争当時の暮らしの様子と今の暮らしの違いを捉えさせる。 ○戦争をテーマにした絵本を学年廊下に置き、「一つの花」の世界に入り込み易くする。	・絵本「お母さんの紙びな」を読み聞かせる。
一	1	【思考・判断・表現】 心に残った表現や場面、感想などを書いたり話し合ったりすることができる。 ☆記述・発言	○物語の設定を確かめ、内容をおおまかに捉える。 ○初発の感想を書き、読み深めたいところを発表し合う。 ○学習の見通しをもつ。 ○分からない語句や新出漢字を調べる。	・イメージしにくい物については、映像資料等を使う。 ・感想から読み深めたいところ(疑問や登場人物の思い)を話し合い、めあてをきめる。
二	2	【知識・技能】 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし語彙を豊かにしている。	○第一場面を読み、ゆみ子が最初に覚えた言葉から、その言葉を覚えざるを得なかった生活の背景を読み取る。	・繰り返し出てくる「一つだけ」という言葉が物語の中で重要な役割を果たしていることに気付かせる。
	3	☆記述・発言	○第二場面を読み、めちやくちやに高い高いする父親の行動から、ゆみ子に対する願いや気持ちを想像する。	・「一つだけ」の言葉の意味について、父親と母親の会話から心情を想像させる。 ・小グループ交流

4	<p>【思考・判断・表現】 登場人物の気持ちの変化や性格、情景などについて、場面の移り変わりや叙述と結び付けて具体的に想像している。</p> <p>☆記述・発言</p>	<p>○第三場面を読み、戦争に行くお父さんを見送る家族の様子や両親の気持ちを読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3人の気持ちをそれぞれ読み取らせる。
⑤ 本時	<p>○第四場面を読み、ゆみ子に一輪のコスモスの花を渡した時の父親の思いについて叙述を基に考え、伝え合う。</p>	<p>○第四場面を読み、ゆみ子に一輪のコスモスの花を渡した時の父親の思いについて叙述を基に考え、伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いがもてない児童への手立てとして、ヒントカードを渡す。 ・話型提示
6	<p>【主体的に取り組む態度】 学習課題に沿って課題に取り組み、物語の感想を書こうとしている。</p> <p>☆観察・記述</p>	<p>○第五場面を読み、十年後のゆみ子とお母さんはどのように暮らしているのかを読み取り話し合う。</p> <p>○題名「一つの花」に込められた意味について話し合おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「一つだけ」という言葉が第5場面では出てこないことに気付かせ、理由も考えさせる。
7	<p>【思考・判断・表現】 友達の感想を聞き、互いの考え方や感じ方の違いに気付いている。</p> <p>☆記述・発言</p>	<p>○一つの花を読み、考えたことを感想としてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想をまとめる観点を具体的にあげる。 ・詳しく読んで考えが変わったところを中心にまとめる。
8		<p>○前時に書いた感想を発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想を読み合い、互いの良さを見つけ、共通点や相違に気付き学びを深める。

7. 本時の学習（5／8）

(1) 目標 「一つの花」に込められた父のゆみ子への思いについて、叙述をもとに考え、伝え合うことができる。

(2) 展開

【 】評価基準 ☆評価方法	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
<p>【思考・判断・表現】 ☆発言・記述 叙述を基に、お父さんの思いを想像し、伝え合うことができている。</p>	<p>○前時までの学習をふりかえり、本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>コスモスの花をわたした時のお父さんの気持ちを考え、伝え合おう。</p> </div> <p>○範読を聞く。</p> <p>○お父さんは、なぜゆみ子に一輪のコスモスの花をわたしたのだろうか。（ワークシート記入）</p> <p>○小グループでの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣いたまま別れるのは悲しいので、コスモスをあげた。 ・ごみ捨て場のような所で咲いていた強くて美しいコスモスのように育ててほしいと思ったから。 ・どんなところでも、花はきれいに咲くということを伝えたかった。 ・戦争で死んでしまうかもしれないからお父さんの形見にしてほしい。 <p>○グループで考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>○全体で共有する。</p> <p>○お父さんの「一つだけ」にはどんな意味があったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの命 ・一つの大切なもの <p>○学習のまとめ</p> <p>○学習のふりかえり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援を多く使い、前時までの学習をすぐに思い出せるようにする。 <p>○想像で気持ちを発表するのではなく、文章のどの部分に基づいていたのかを大切にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書けない子には、 ※ヒントカード <ul style="list-style-type: none"> ・話し方・聞き方を意識できるようにする。（話型の揭示） ・友達の視点から考えを加えたり修正したりする。 <p>○既習のお母さんの「一つだけ」ゆみこの「一つだけ」とは、どんな違いがあるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの視点を揭示

本時の視点：お父さんの心情を叙述をもとに想像しながら読み、自分の考えをもったり友だちに伝えたりするために、本時の手立てが有効であったか。